

「公共サービスにもっと投資を!」
街 宣 行 動

日時：2025年3月6日(木) 17:30～
場所：福島市「駅前にぎわい広場」

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第859号
2025年(令和7年)
2月28日
福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人澤村英行

がんばろう福島

第116回
臨時大会

「2025春闘、参院選」
当面の課題に全力で取り組もう！

自治労福島県本部は、2月6日(木)に福島市「ホテル福島グリーンパレス」で第116回臨時大会を開催した。会津総支部管内の大雪をはじめ、県内全域が荒天に見舞われる中、WEB併用開催となった同大会にはWEB参加を含め148名の代議員が出席。春闘方針等の議案が賛成多数で可決決定された。

大雪の中、WEB併用で開催

全国的に大雪への警戒が報道される中、県本部は2月6日の臨時大会に向け、4日には会津総支部管内単組等へのWEB併用開催を周知。その後、大雪が危惧される地域が拡大したことから、5日には全単組へWEB併用開催の周知を流した。当日は、予報どおりの荒天となったが、WEB併用の効果もあり、予定された代議員の欠席は少なく、大会への影響は最小にとどめることができた。

主な提案内容

報告・承認事項では一般経過報告の中で、県本部事務所が入居する協働会館の老朽化について、入居団体による協議経過を説明。県本部事務所のあり方について、今後検討委員会の中で検討していくことを説明した。報告・承認事項について承認を得た後、議事に入り、執行部より「県本部2025春闘方針」など、9つの議案を提案。県本部書記の段階的定年延長に係る県本部規程の改正や第50回参院選の総括、第27回参院選闘争方針なども提案された。これに対し、7名の代議員から質疑や補強意見が寄せられた。鈴木茂県本部書記長による執行部答弁の後、すべての議案について可決・承認された。また、今次大会では役員選挙も行われたが、新役員は全員信任され、新執行体制も確立された。結び、澤村中央執行委員長が団結がんばろうで大会を締め括った。

各単組の発言

喜多方市職労
五十嵐久雄代議員



大雪のため急遽WEB併用となった第116回臨時大会

労働組合が政治闘争に取り組む意義や本質を組合員へ伝えることが、政治闘争の核である。推薦候補者の勝利自体が政治闘争を推進する目的ではない。労働組合として、政治闘争を通じて何をめざすのか、包括的な方針提起やメッセージの発信も併せて必要である。また、協力議員をつくる・増やす取り組みへの支援や強化策の提起を検討願う。単組における人員要求で課題となるのは「適正な人員数や業務量の把握」だが、「適正を判断する物差し」がない。「職

員が生産性を常に向上させ、職員の総数を減らし、これまでの物差しで増員していく」と、このせめぎ合いが今、労使の力関係のバランスになっている。標準的な業務モデルは示せないのか、検討を願う。

須賀川市職労
中村裕輔代議員



須賀川市の財政状況も厳しい。新年度予算も年明けによりやく組めた。大きくメスが入られたのは会計年度任用職員の人員費。適正な人員配置とは程遠く、予算がないから減員するというもの。業務量は減らず、「多くの会計年度任用職員が減らされる中で、業務が回るのか」という不安の声とともに、会計年度任用職員からも「雇止めが不安で仕事が手につかない」との悩みも聞こえてくる。新年度予算が固まる中、雇止め阻止は困難だが、単組として疲弊する職員の声掛けや相談に取り組みたい。県本部に対しては、雇止め阻止等に係るアドバイスを



推薦決定を受け決意を表明する石原洋三郎予定候補



澤村委員長(右)から檄旗を贈呈

県選挙区は石原洋三郎予定候補を推薦決定

県本部は今次臨時大会で、7月に予定される第27回参院選選挙・福島県選挙区において、石原洋三郎予定候補を推薦することを決定した。推薦決定後、登壇した石原洋三郎予定候補は、組合員を前に、自己紹介とともに、国政に臨む決意を表明。

澤村中央執行委員長が、石原洋三郎予定候補に檄旗を贈呈した。

石原洋三郎予定候補は、福島市出身、51歳(2月28日現在)。現職の福島市議会議員で、現在5期目。2009年8月から2012年11月まで衆議院議員を1期務めている。なお、比例代表選挙は、すでに岸まきこ予定候補の推薦を決定している。

第27回参院選県本部推薦予定候補者
比例代表 岸まきこ(立憲民主党・現① 48歳)
県選挙区 石原洋三郎(立憲民主党・新 51歳)

お願いしたい。

福島市職労

井上和弥代議員



10月の現業団体交渉で、現業職採用試験で定員に達しなかった場合の追加試験の実施を認めさせた。結果、12月に追加

試験を実施させた。また、現業職場改善要求として、「ごみ袋の開封調査の条例化」を長年要求した結果、開封調査条例制定を勝ち取った。

確定闘争では、厳しい財政状況のもと、県人勧凍結や独自カットも危惧されたが、早期からこれらの動きを許さない姿勢を示し、団体交渉で、県人勧凍結を勝ち取った。

再任用職員は制度導入から24年間、単一給のままである。会計年度任用職員の一時金が常勤職員と同月数となる中、再任用職員の一時金は半分程度の支給月数のみである。県本部から本部に、総務省対策の強化を要望願う。

福島市職労も、参院選

にむけ取り組みを進める。

一書記長の取り組み報告を聞いた。「組織強化に特効薬はない、やるべきことをやる」との話が印象的だった。これを受け、先月から改めて、新規採用職員に対し組合加入の声掛けを開始した。

いわき市職連合
鈴木規睦代議員



市職労では、例年8月に「人員確保に係る職場アンケート」を実施。これは、人員増を求める人数等を調査するもの。秋に「人員確保に係る要求書」として、当局へ提出している。また、病職労でもアンケートを実施しており、その結果をもとに、3月に団体交渉を行う。県本部春闘討論集会の際の組織強化の分科会で、山形県連合・三瀧知

3月10日に春闘期の総務部長交渉を実施。要求前進にむけ、取り組む。寒冷地手当について、先日、県人事委員会から

県職連合
大内敦夫代議員



とを受け改善を求めたが、回答は示されなかった。今年に入り、当局から、旅費の見直しに向けた勉強会の申し入れがあり、明日、1回目の意見交換を行う。これを皮切りに実態に則した見直しの議論を進めていく。県本部には引き続きの協力を要望する。

南相馬市職労

折笠有基代議員



WEB会議の開催に消極的な県本部の姿勢に疑問を感じる。月例で開催される定期的な会議にはWEBを積極的に導入してもよいのではないかと。当単組では、執行委員がしっかりとした知識を習得し、意見を反映できる環境をつくることを重視し、新たな取り組みを行っている。最初の執行委員会は、役割や活動の目的等を研修形式で説明することにした。また、執行委員会はグループに分け、四役がファシリテーターとして説明の補強や意見だしを行う形にした。県本部でも先進事例の共有をお願いしたい。

定年延長の規程改正は、書記と交渉を行ったのか。

二本松市職労

関根美和代議員



当単組は、自治労連との競合単組である。相手方は、自治労に比べ運動の頻度が少ないこと、組合費が安いことをアピールしている。組合活動の在り方について、再検討が必要ではないか。「組合活動は楽しいもの」と思われるよう、当単組では「デイズニースーバスツアー」を開催した。今

後も親睦が深まる活動を行いたい。また、SNS等を活用した情報発信も検討したが、財政的にも、人員的にもハードルが高い。県本部で、情報共有アプリ等の導入はできないか。もしくは、単組のアプリ導入等の費用負担やレク事業への補助など、検討をお願いする。

候補者の必勝」という目標でよいが、役員の立場では「推薦候補者の勝利自体が政治闘争の目的ではない」との考えには同意。取り組みの日常化が組織強化につながる。

「一自治体一協力議員」「推薦首長」について、各単組でぜひ追求いたい。何かあれば県本部へ相談を。

「モデル賃金のようなものはないのか」とのことだが、現時点では「人員確保要求チェックリスト」を活用願いたい。

執行部答弁

答弁する

鈴木茂県本部書記長



現業・公企統一闘争

今回報告をいただいた福島市職労の成果は、現業職だけでなく非現業の組合員も一丸となって取り組んだ成果。特に、ごみ袋の開封調査は全国的にも注目を集めている。自治研福島県集会、さらには全国自治研の際、レポート提出をお願いしたい。

2024確定闘争

大幅な賃上げ勧告は喜ばしいが、財政問題が叫ばれるようになった。勧告完全実施のためにも、要求・交渉・妥結・妥結結果の書面化の取り組みをお願いする。

再任用職員の処遇改善

再任用職員の一時金水準については、本部も省庁対策等を強化する意向を示している。単組においては、まずは再任用4級格付けをめざしていただきたい。

政治闘争方針

組合員向けには「推薦候補者の必勝」という目標でよいが、役員の立場では「推薦候補者の勝利自体が政治闘争の目的ではない」との考えには同意。取り組みの日常化が組織強化につながる。

候補者の必勝」という目標でよいが、役員の立場では「推薦候補者の勝利自体が政治闘争の目的ではない」との考えには同意。取り組みの日常化が組織強化につながる。

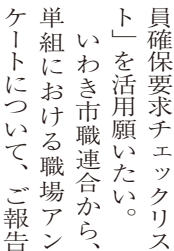
「一自治体一協力議員」「推薦首長」について、各単組でぜひ追求いたい。何かあれば県本部へ相談を。

「モデル賃金のようなものはないのか」とのことだが、現時点では「人員確保要求チェックリスト」を活用願いたい。

人員確保闘争

答弁する

鈴木茂県本部書記長



現業・公企統一闘争

今回報告をいただいた福島市職労の成果は、現業職だけでなく非現業の組合員も一丸となって取り組んだ成果。特に、ごみ袋の開封調査は全国的にも注目を集めている。自治研福島県集会、さらには全国自治研の際、レポート提出をお願いしたい。

2024確定闘争

大幅な賃上げ勧告は喜ばしいが、財政問題が叫ばれるようになった。勧告完全実施のためにも、要求・交渉・妥結・妥結結果の書面化の取り組みをお願いする。

再任用職員の処遇改善

再任用職員の一時金水準については、本部も省庁対策等を強化する意向を示している。単組においては、まずは再任用4級格付けをめざしていただきたい。

政治闘争方針

組合員向けには「推薦候補者の必勝」という目標でよいが、役員の立場では「推薦候補者の勝利自体が政治闘争の目的ではない」との考えには同意。取り組みの日常化が組織強化につながる。

役員の育成

南相馬市職労における取り組みについて、他単組でも参考にしていただきたい。

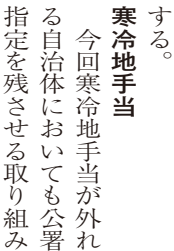
定年延長に係る規程改正

書記には書記労という労働組合があつて、当然今回の定年延長については書記労との交渉で合意した内容を、提案した。書記労との交渉が近年行われていなかったという問題が明らかになっていくので、今後はきちんと交渉・協議を行うこととする。

寒冷地手当

答弁する

鈴木茂県本部書記長



現業・公企統一闘争

今回報告をいただいた福島市職労の成果は、現業職だけでなく非現業の組合員も一丸となって取り組んだ成果。特に、ごみ袋の開封調査は全国的にも注目を集めている。自治研福島県集会、さらには全国自治研の際、レポート提出をお願いしたい。

2024確定闘争

大幅な賃上げ勧告は喜ばしいが、財政問題が叫ばれるようになった。勧告完全実施のためにも、要求・交渉・妥結・妥結結果の書面化の取り組みをお願いする。

再任用職員の処遇改善

再任用職員の一時金水準については、本部も省庁対策等を強化する意向を示している。単組においては、まずは再任用4級格付けをめざしていただきたい。

政治闘争方針

組合員向けには「推薦候補者の必勝」という目標でよいが、役員の立場では「推薦候補者の勝利自体が政治闘争の目的ではない」との考えには同意。取り組みの日常化が組織強化につながる。

対する費用助成の要望もいただいたが、お金のかかることは正直困難。県本部で準備は難しいが、本部でそのようなものは検討できないのか、要望を伝えたい。

会計年度任用職員の雇止め

近年、賃上げや勤勉手当の措置が講じられ、会計年度任用職員の賃金条件は劇的に改善した。一方で、雇止めが相次ぐことが懸念される。交付税で財政措置がされているが、このようなことは起こる可能性がある。地方財政の充実強化を求め意見書の提出などしっかり取り組む必要がある。福島では比較的に組まれているが、全国的に組み込みを広げられるよう本部に要望したい。

自治労福島新年特集号

お年玉クイズ当選者発表

たくさんのご応募をありがとうございました

お年玉クイズの回答：パートタイマー

自治労福島県本部賞
「ギフト券5万円分」2本
奥川 喜一（須賀川市職労）
渡邊 彩香（下郷町職労）

こくみん共済coop自治労共済推進本部福島県支部賞
「カタログギフト5千円相当」10本
久間木美恵子（福島市職労）
半澤日菜子（福島市職労）
山澤 拓也（福島市職労）
山口 和佳（鏡石町職労）
鈴木 幸枝（矢祭町職労）
佐川由紀子（石川町職労）
新田 稔（会津若松市職労）
渡辺麻衣子（磐梯町職労）
秦 涉吾（西会津町職労）
新国万寿美（只見町職労）

東北労金福島県本部賞
「カタログギフト1万円相当」2本
田中 豪（県職連合南会津支部）
浜田 紀子（棚倉町職労）

こくみん共済coop福島推進本部賞
「図書カード5千円」4本
渡辺 淑恵（本宮市職労）
佐々木香苗（白河市職労）
大沼早矢加（玉川村職労）
福島 好邦（富岡町職労）

自治労福島県本部お年玉賞
「クオカード千円」30本
渡邊 泰（県職連合福島支部）
八木 香理（県職連合郡山支部）
佐竹真由美（県職連合会津医療C支部）
大竹 弘恵（県職連合南会津支部）
阿部 聖也（福島市職労）
山田 和弘（福島市職労）
吾妻 香葉（福島市職労）
那須 大洋（福島市職労）

菅野 和博（福島市職労）
菅野 彩（伊達市職労）
谷 明日菜（二本松市職労）
鈴木 菜生（川俣町職労）
佐久間 快（国見町職労）
大友 琴美（国保連労組）
石山奈津子（西郷村職労）
久保木麻衣（平田村職労）
竹貫 俊英（古殿町職労）
金澤 拓真（浅川町職労）
村山 武司（会津若松市職労）
山内 和代（会津若松市職労）
小荒井和枝（喜多方市職労）
東條 典夫（喜多方市職労）
本名 隆二（金山町職労）
遠藤 知樹（南会津町職労）
薬谷 裕章（いわき市職連合）
齊藤 将智（いわき市職連合）
日野 敬史（いわき市職連合）
佐藤希代美（南相馬市職労）
神戸 美紅（相馬市職労）
中野夕華子（浪江町職労）

ろうきんアプリで

住所変更 募金プロジェクト

あなたの住所変更が子どもたちの支援に!

詳細はこちらから

《お取扱い期間:2025年9月30日まで》

①『ろうきんアプリ』からの住所変更で1件当たり10円を“あしなが育英会”へ寄付。
② 募金上限額 300 万円に到達次第終了。
※募金にあたり、お客様のご負担はございません。

ろうきん教育ローン

《カード型》

教育費のことなら
お使いみちはいろいろ!

入学金や授業料、受験料、仕送りなどご本人やご親族(2親等以内)の方(※1)の教育費用や他金融機関の教育ローンのお借換え(※2)などにご利用いただけます。

POINT 1 “お利息のみ”のご返済
POINT 2 限度額の範囲内で繰返しお借入れが可能

ご融資限度額 最高2,000万円
ご融資期間 最長20年

《教育ローン Web 完結型》お申込みからご契約までWebで完結!

ご来店不要 ご記入不要 ご印鑑不要

東北労働金庫 0120-1919-62

ろうきんアプリ